

町政を問う

小中一貫教育の基本理念構築と住民理解の方策を！ まちおこしの旗頭としてマスコットキャラの考案を！



篠原 天

篠原 観光開発、或いは町おこしのシンボルとして、わが町の新たなマスコットキャラクターを考案する考えはないか？

町長 アイデア自体を否定するものではないが、行政主導で進める場合、作るまでのプロセスがピクで、採用後の活用策に限界もある。できれば、考案から活用まで、商工会など、民間主導で進めて頂きたい。

篠原 民間主導でという点は理解するが、採用後の商標登録及び使用許可等は行政で一定のガイドラインに基づき、運用・管理されるべきと思うが、この点はどうか？

町長 そのような考え方を否定するものではない。

新たなわが町マスコットキャラクターを 行政主導で考案しては？

町長 まずは民間主導での 取り組みに期待したい

小中一貫教育の 導入について

篠原 具体的な導入時期はいづごろになるか？

教育長 ある特定の時期から、一斉にシステムを変更するというイメージ

ではない。例えば、保小中で導入しているモジュール学習などはその先駆けであるし、すでに、実践している中学校教員による小学校児童への音楽・美術指導もその一貫であり、その意味では、

すでに、導入は進行中である。ただ、そのような取り組みをとりまとめた「小中一貫教育推進計画」といったものを作成し、公表するには、もう少し時間が必要である。

篠原 最後に学校統合問題の今後について伺う。今回取り上げた小中一貫教育をはじめ、学校耐震補強など教育長部局では多くの重要課題に取り組まれている。一方、学校統合問題については、住民対話を中心に、方針を説明され、教育的観点からの



進む小中交流授業の風景



モジュール学習も小中一貫で

見解を十分説明されており、この問題につき、住民の関心は、学校配置に関連する、財政的観点からの選択肢、スクールバス運用面、防災上の観点からの適正な配置など、むしろ町長部局の管轄する方面に移行している。今後、学校配置に関する住民との対話は、町長部局が主導的な立場に立てれる考えはないか？

町長 関連法の観点からも、学校統合問題全般については、教育委員会部局が主導的な役割を担うべきと考える。ただ、その過程で、必要な学校施設の配置及びそれに付随する財政・運輸・防災面等の住民説明が必要な局面では、町長部局も、その必要に応じて、協力を